

ろうさい かわら版

2024.1

vol. 67
新春号



◆ 新年のご挨拶 P2

病院長代理 小笠原 和宏

◆ 研修医紹介 P3

初期臨床研修医 岸浪 建

特集① ◆ 検診マンモグラフィ撮影
認定放射線技師とは P4・5

放射線技師 横田 奈美 高橋 杏奈
木内 陽葉 三上 真奈

特集② ◆ 地域との連携を担い、
切れ目のない医療を実践します P6・7

地域医療連携総合センター 箭原 希海

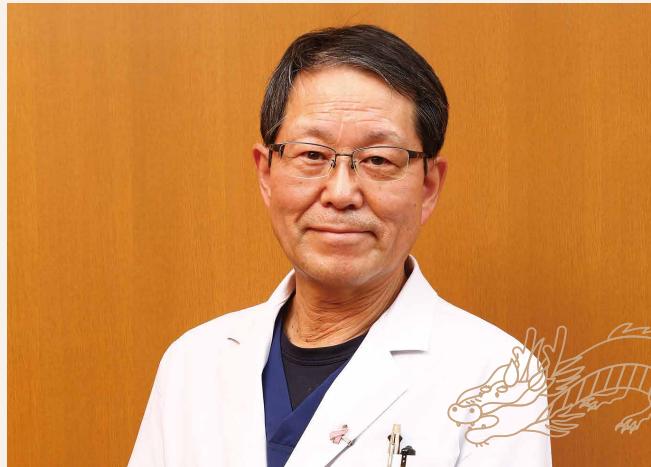
◆ 令和6年 外来診療科担当医師一覧 P8

新年のご挨拶

病院長代理 小笠原 和宏
おがさわら かずひろ

新年明けましておめでとうございます。令和の時代も6年目となり、皆様には穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。地域の皆様に支えられ、釧路労災病院は今年も無事に新しい年を迎えることができました。誠にありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症が、法律上は季節性インフルエンザと同じように取り扱われる様になって、私どもの生活も徐々に以前のような状態に近づきつつあります。しかしながら、この未曾有のパンデミックを経験した我々は、例えばインターネットを利用した会議システムのように、新たな生活・仕事のスタイル手に入れました。そして、この春からは「医師の働き方改革」と称して、使命感だけで制限なく働き続けることが許されない時代を迎えます。そのためには、仕事の分担や移譲をこれまで以上に推進しなければなりません。当院では「急性期一般病床数を削減して、HCU(高度治療室)を新設する」ための工事が進められています。業務の選択と集中により、十分とは言い難いマンパワーでも医療の質を担保するための思い切った対策と考えております。



血液疾患に対する化学療法を安全に行うための無菌治療室の増床、より精細で確実な外科手術を可能にするロボット支援手術システムの導入など、診療機能の拡充を進めてきました。しかしながら、入れ物や道具がどんなに良くなっても、それを使う人間がいなければ何の役にも立ちません。医師だけでなく、看護師・薬剤師等々、様々な職種の医療従事者を育てていくことも当院の重要な使命と考えております。

釧路を含む地域医療の現状は、医師の高齢化と若い力の都会への流出によって危機的な状況にあります。利便性を追求し、ふるさとをないがしろにする風潮には、何とか抵抗しなければならないと感じております。しかし、それもある意味で大きな時代の流れなのかもしれません。まずできることを確実に実行し、お互いに手を携えながら地域医療を支え続ける所存です。本年も、さらなるご支援、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

釧路ろうさい病院の理念

最新の知識と技術に基づき、良質で信頼される医療を実践します。

基本方針

1. 安全で質の高い医療を実践します。
2. 患者の権利を尊重し、十分な説明と同意に基づく医療を実践します。
3. 透明性の高い医療を実践します。
4. 地域住民と勤労者の健康づくりのために、予防医療を実践します。

臨床倫理方針

1. 患者の人権を守ります。
2. 患者の自己決定権を尊重します。
3. 生命倫理に関する法律及びガイドラインを遵守して診療を行います。
4. 患者の信条や生命の尊厳に関する問題については審議を行い、治療方針を決定します。
5. 患者のプライバシーを遵守し、個人情報の保護を徹底します。

研修医紹介

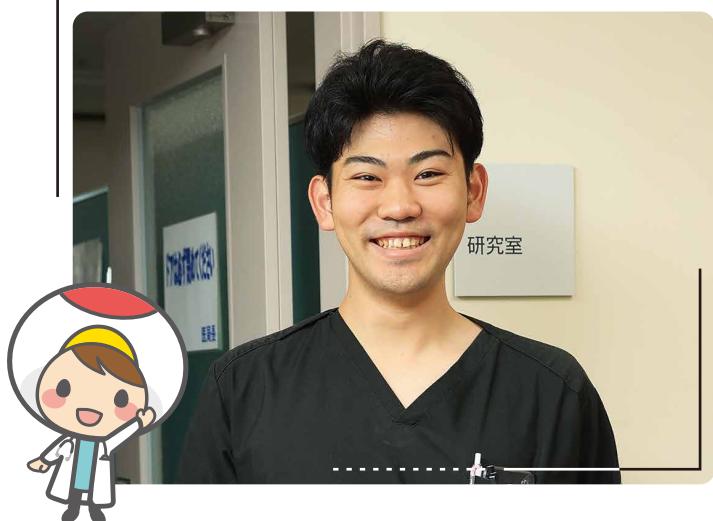
きしなみたける
初期臨床研修医 岸浪 建

卒業大学 北海道大学

釧路労災病院に勤めて半年となります、初期臨床研修医1年目の岸浪建と申します。当院にて上級医の先生や医療スタッフの方々に手厚いご指導をいただきながら、良き医師となれるよう日々努力しております。

当院では、東は根室から、北はオホーツク地域からという非常に大規模な地域から患者様が来られます。また、地域としては人口比に対する医療スタッフの人数が比較的少ないということも伺いました。そのような病院および地域の特性ゆえに、医療スタッフの連携、病院間の連携が非常に緊密であるという印象を受けました。私も例外ではなく、半年を通じて非常に多くの医療スタッフの方々や他院の方々にお世話になりました。

院内では「臨床研修総合講座」という講座にて様々な職種の方々より感染対策、薬事等のご指導をいただきました。当然ながら日々の業務は医学的知識のみでは務まらず、それ以外の知識についても習得することや場合によっては多職種の方々に



相談することの必要性について学びました。また、臨床業務で必要となる採血や心エコーのとり方等の手技についても、お忙しい中丁寧にご指導くださいました。

院外では直近に小児救急、緩和ケアの講習会に参加させていただいたのですが、講習開始前に共通して「この場では学ぶこともそうですが、参加者との『顔の見える関係』を作ってほしいです。」という主旨の言葉が印象的でした。地域内を通じて医療者間のコミュニケーションを大事にされている

ことが分かった瞬間でした。また、日々の臨床研修自体も市内の病院を往来する形で行うため、他院の研修医の方との

関係も得ることができます。半年を通じて他院の先生方にご連絡する機会は多々あったため、このような他院、他施設の方々と時間を共にする研修は非常にありがとうございました。

以上のように、当院での研修医ということに加え、道東地域の医療スタッフとして育てていただきつつ、日々診療に関わらせていただいております。与えられた役割に応えられるよう今後とも日々精進してまいります。まだまだ未熟者ですがよろしくお願ひいたします。



検診マンモグラフィ 撮影認定 放射線技師とは



▲マンモグラフィ装置

マンモグラフィ（乳房X線検査）は、触診では見つからないような小さなしこりや、悪性の可能性が高い微細な石灰化を発見するのに有効な検査です。

日本では9人に1人が乳がんになるといわれており、罹患率、死亡率ともに増加傾向にあります。しかし、乳がんは早期に発見し適切な治療を受けることによって完治する可能性が高くなるがんなので、早期発見のために定期的に乳がん検診を受けることが非常に大切です。

乳がん検診の方法の一つにマンモグラフィがあり、マンモグラフィとは乳房専用のX線検査のことです。乳房を専用の装置で圧迫して撮影しますが、ただ圧迫すればいいわけではありません。乳房の形や大きさ等は人それぞれ違うので、撮影を行う診療放射線技師が正しいやり方を理解していないと、仮に病気があっても診断しにくい画像になってしまうことがあります。（例えば技師Aが撮影したときは病気が写らなかったが、技師Bが撮影したら病気が写った、ということが起きてしまう可能性があるということです。）このようなことを防ぐためには正しい知識や撮影技術を身につけなければいけません。

皆様に安心して検査を受けていただけるように



今回お話しする「検診マンモグラフィ撮影認定放射線技師」はマンモグラフィの知識と撮影技術を向上させ、より質の高い乳がん検診を提供することを目的とした認定資格です。

この資格を取得するためには、2日間の講習会を受講した後、撮影機器の構造や品質管理、撮影技術、解剖や病理等についての筆記試験と、実際のマンモグラフィの画像を読影する読影試験に合格しなければいけません。また認定取得後も適切な実力や知識を有しているか確認するために、5年ごとに更新試験を受けることが義務付けられています。更新試験で十分な知識や撮影技術を有していないと判断された

場合、資格が失効されることもあります。そのため、私たちは日々の業務の中で装置の精度管理や、撮影技術の向上を図るために、定期的な学習を行い、よりよい検査が行えるように努めています。

マンモグラフィ検査は痛みを伴うことが多い検査なので、不安に思われる方もいらっしゃるかと思いますが、体調や症状に合わせて対応いたしますので安心して検査を受けていただければと思います。当院の放射線部には4名の検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師が在籍しておりますので、ご不明なことや気になることがあればなんでもご相談下さい。

来年は
泉浦、鈴木の
両名が認定受験
の予定です

放射線技師

よこた なみ

横田 奈美

たかはし

あんな

高橋 杏奈

きうち

あきは

木内 陽葉

みかみ

まな

三上 真奈



地域との連携を担い、 切れ目がない 医療を実現します

当院は、平成24年10月に北海道から釧根地区唯一の地域医療支援病院の承認を受けました。地域医療支援病院とは、より詳しい検査や専門的な治療が必要な患者様へ医療を提供する病院として定められ、地域の医療機関の役割分担と連携強化を目的とする制度です。

当院の新規受診のうち、80%以上が地域の医療機関様よりご紹介いただいた患者様です。当院を受診され、急性期の治療が終了、もしくは別の専門的

な治療が必要となった際には、当院より他の医療機関様へ逆紹介をさせていただきます。当院では、紹介・逆紹介をより緊密に実施するべく、現在143施設



地域医療連携総合センター



の医療機関様に連携登録医として登録いただいております。こちらは、当院のCT・MRI等の高額医療機器や開放病床の利用、診療予約等をスムーズに行う為の制度です。

また、平成27年3月より、地域医療支援の役割を一層強化する為に前方支援(地域医療連携)、後方支援(入退院・転院調整)、相談支援の各部門を集約化した「地域医療連携総合センター」を開設し「各部門の連携強化による地域医療の質の向上」「地域の医療機関との連携強化」「紹介患者の転院、退院までのトータルサポート」「院内のあらゆる相談への対応」を担っています。患者様が安心して医療を受けられる為、紹介元の医療機関様が安心して当院へ患者様を預けられるように「入院～退院における一貫した支援」を実施するべく、PFM(入院時支援)を導入し、MSWや退院調整看護師の介入を入院早期に実施することで、退院先の決定やその後の生活の不安の解消に努めています。

また、当院では「レスパイト入院」を受け入れていま



地域医療連携総合センター

やはら のぞみ

箭原 希海

す。レスパイト入院とは、介護者の肉体的・精神的な負担の軽減を目的に短期間(最大2週間)の入院を行う仕組みです。釧根地区においても高齢者の増加に伴いレスパイト入院の需要は高まっています。在宅医療を受けられる患者様に入院が必要となつた際には「在宅療養後方支援病院」として常に受け入れ可能な体制を整備しておりますので、地域の医療機関様と共に切れ目のない地域医療を実現するべく、院内における管制塔として継続的に活動させていただきます。

当センターでは、患者様自身が自己の健康問題をセルフコントロールでき、安心・安全な療養生活を目指し、勤労者が早期に職場復帰をできるように相談・支援を行う窓口を設置しております。「がん」やその他の疾患による不安、「治療と仕事の両立」にサポートを必要とされる方は、是非とも下記までご連絡ください。



支援・相談窓口のご案内

がん相談支援センター

対象 がん患者様やご家族、地域の方、医療者など、どなたでもご利用いただけます

時間 平日8:15～17:00

対応者 MSW、看護師、心理カウンセラー

連絡先 0154-22-7191(代)

E-mail sien@kushiroh.johas.go.jp

両立支援相談窓口

対象 当院の受診の有無に関わらず、がん・糖尿病・脳卒中等で治療中の方やご家族、事業場の担当者の方

時間 平日13:00～17:00

対応者 両立支援促進員(MSW)

連絡先 0154-22-7191(代)



外来診療科担当医師一覧表

令和6年1月1日現在

科別診療体制		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	備考
内科 午前	1 診	高橋 慎	(研修医)	高橋 堅大	藤畠 堅大	(研修医)	血液専門外来：月曜日～金曜日
	2 診	小田 寿	宮城島 拓人	宮城島 拓人	小田 寿	小田 寿	腫瘍内科専門外来（完全予約制）：澤田（月曜日 午後）
	3 診	桜井 健介	佐野 逸紀	佐野 逸紀	佐野 逸紀	佐野 逸紀	糖尿病・膠原病外来（完全予約制：13時から診察開始）
	4 診	西村 友佑	澤田 憲太郎	澤田 憲太郎	山田 錬	山田 錬	・第1・3水曜日：古川（出張医）
	5 診	渡辺 亮介	山田 錬	西村 友佑	山田 錬	桜井 健介	・第4火曜日：西尾（出張医）
	6 診	杉村 駿介	藤畠 堅大	渡辺 亮介	井上 ゆきな	井上 ゆきな	
	7 診	重松 明男	井上 ゆきな	杉村 駿介	重松 明男	重松 明男	※受診は「紹介状」が必要となります。
	8 診						※急を要しない方は、事前予約にご協力願います。
神経内科	午前 1 診	津坂 和文	津坂 和文 (新患)	津坂 和文	布村 薫	布村 薫	新患（受付時間：8：15～11：00）：津坂（火曜日）・穴田（木曜日）・布村（木曜日）
	2 診		布村 薫	穴田 麻眞子	穴田 麻眞子	穴田 麻眞子	再来（予約制）：津坂（月曜日・水曜日）・布村（火曜日・金曜日（午前））
	3 診			津坂 和文			再来（予約制）：穴田（水曜日・木曜日・金曜日）
	午後 1 診	津坂 和文	穴田 麻眞子 (新患)	穴田 麻眞子	穴田 麻眞子	穴田 麻眞子	・月3回（火曜日）伊藤芳子（出張医）
	2 診		布村 薫				
	3 診						
循環器内科	午前 1 診					出張医	かかりつけ患者のみ対応 (紹介患者は受付不可となっております)
	2 診					出張医	
	午後 1 診					出張医	出張医（鯨島 瞳生、鯨島 八寿子）
	2 診					出張医	
緩和ケア内科 午前		小田 浩之	小田 浩之	小田 浩之	小田 浩之	小田 浩之	予約制：月曜日～金曜日 9：30～12：00
外科 午前	1 診	小笠原 和宏	交代制	石黒 友唯	小笠原 和宏	中川 隆公	手術日：月曜日～金曜日
	2 診	小林 展大		沢田 弘史	中川 隆公	板倉 恒輝	
	3 診	交代制		佐野 峻司	交代制	交代制	
	(振動病検診) (特殊外来)	(乳房検診) ※予約制					
整形外科 午前	1 診	加藤 琢磨 (予約外)	放生 憲博	放生 憲博	放生 憲博	加藤 琢磨	手術日：月曜日～金曜日／検査日：火曜日・木曜日 13：00～
	2 診	松居 祐樹	加藤 琢磨 (予約外)	松居 祐樹	松居 祐樹	中下 並人 (偶数週)	※専門医がご対応するため、事前予約をお願いします。
	3 診	中下 並人 (奇数週)	中下 並人 (予約外)	校條 祐輔	校條 祐輔	校條 祐輔 (予約外)	※放生副院長初診は事前予約が必要となります。
	4 診	柳澤 那由他 (偶数週)	柳澤 那由他		中下 並人	柳澤 那由他 (奇数週)	
	5 診				柳澤 那由他 (予約外)		
形成外科 午前		1 診				出張医	●外来診療のみ 全身麻酔を伴う手術は不可
脳神経外科 午前	1 診	伊藤 康裕	(予約)	進藤 崇史	(予約)	伊藤 康裕	手術日：火曜日、木曜日
	2 診	井須 豊彦	礫部 正則	井須 豊彦	礫部 正則	井須 豊彦	火曜日・木曜日 3診：手術のため、診察を早く終了する場合があります。
	3 診	磯部 正則		磯部 正則	磯部 正則	磯部 正則	紹介患者、救急患者に適時対応いたしますので、お問い合わせください。
皮膚科				出張医 (予約)			出張医（第3水曜日）診察時間14：30～ 予約制（院内紹介のみ）
泌尿器科 午前	1 診	佐々木 芳浩	佐々木 芳浩	佐々木 芳浩	佐々木 芳浩	佐々木 芳浩	月曜日～金曜日：新患・再来 予約制 3診は10：30から診察開始
	2 診	鯨岡 悠	鯨岡 悠	鯨岡 悠	鯨岡 悠	鯨岡 悠	他科入院新患：緊急以外は火曜日・金曜日にお願いします。
	3 診	閑 仁志朗 (手術)	閑 仁志朗 (予約・検査・特診)	閑 仁志朗 (手術)	閑 仁志朗 (手術)	閑 仁志朗 (手術)	血液透析：月曜日～土曜日／手術日：月曜日・水曜日・木曜日 ※救急の場合は、適時対応いたしますので、お問い合わせください。
婦人科							予約制：月3～4回
眼科 午前	1 診	佐藤 慎	佐藤 慎	佐藤 慎	佐藤 慎	佐藤 慎	原則、事前予約・紹介状が必要となります
	2 診	(手術)	(検査)	(検査)	(手術)	(検査)	月・木の午前受付は8:15～10:30
耳鼻咽喉科 午前	1 診	3人で 交代制	3人で 交代制	3人で 交代制	3人で 交代制	3人 = 石井 秀幸・荒木 大輔・北南 和彥	水曜日：完全予約制／手術日：火曜日・水曜日・金曜日
	2 診	(検査)	(手術)	(手術)	(手術)		睡眠時無呼吸(SAS)外来（予約制）：金曜日（午後）
リハビリテーション科		(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	
歯科口腔外	午前 4台	交代 制 (手術)	交 代 制 (手術)	藤盛 真樹 角 伸博 (手術)	交 代 制 (手術)	藤盛 真樹 角 伸博 (手術)	予約制 交代制 = 藤盛・角・渡邊・松本のうち2名が外来担当
	午後 4台	交代 制 (手術)	交 代 制 (手術)	藤盛 真樹 角 伸博 渡邊 泰崇 松本 侑樹	藤盛 真樹 角 伸博 渡邊 泰崇 松本 侑樹	藤盛 真樹 角 伸博 渡邊 泰崇 松本 侑樹	手術日：月曜日・火曜日・木曜日（午前）月曜日・金曜日（午後） ・手術日でも外来診療を行っておりますが、手術の内容によって休診の場合があります。
放射線科	午前 1 診	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	予約制：1診 放射線治療外来 米坂 祥朗
	午後 1 診	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	
麻酔科 午前		1 診	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	予約制（紹介患者のみ） 診療時間：8：15～8：45
消化器病センター 午前		小笠原 和宏	宮城島 拓人	宮城島 拓人	小笠原 和宏	小田 寿	原則 紹介状持参のこと
女性外来		辻本 和代					予約制：月曜日 12：30～15：30 ※月1回 木曜日 13：00～15：00（出張医：吉田）
禁煙外来					小笠原 和宏		予約制：木曜日 15：00～16：00

※臨時の休診が生じる場合がございますので、詳しくは病院ホームページ又はお問い合わせください



独立行政法人
労働者健康安全機構

〒085-8533釧路市中園町13番23号

TEL/0154-22-7191(代表) FAX/0154-25-7308



釧路ろうさい病院

<https://www.kushiroh.johas.go.jp>

くしろろうさいびょういん 検索

